



Google Pixelディスプレイの交換

Google Pixelの壊れたり、機能しないスクリーンを交換します。

作成者: Taylor Dixon



はじめに

この修理ガイドはiFixitのテックライティングスタッフによって執筆されたもので、Googleによって承認されたものではありません。iFixitの修理ガイドのクオリティーについては、[こちら](#)を参照してしてください。

このガイドを使って、Pixelのスクリーンを取り出します。スクリーンの修理や、他のコンポーネントを交換するために取り外しが必要です。

ご注意: ディスプレイに留められた頑丈な接着剤のため、最小限のスペースにツールを差し込み、高温をあてなければなりません。この作業中、アクシデントでディスプレイにダメージを与えてしまうことがあります。壊れたバッテリーを交換する場合は、心配ありませんが、他のパーツを交換する場合は、作業は慎重に行ってください。交換用のディスプレイをご用意ください。

ツール:

- [スパッジャー](#) (1)
- [T5トルクスドライバー](#) (1)
- [ピンセット](#) (1)
- [iOpener](#) (1)
- [ハンドル付き吸盤](#) (1)
- [iFixit開口用ピック\(6枚セット\)](#) (1)

部品:

- [Google Pixel Screen](#) (1)
- [Google Pixelディスプレイ用接着剤](#) (1)

手順 1 — ディスプレイ



- デバイスの電源を切ります。
- [iOpener](#)を使ってディスプレイの端に載せて温めます。ディスプレイ下の接着剤が柔らかくなります。もしくは、ヒートガンやドライヤーを代用することができます。
- ① **i** スピーカーとマイク付近の表面 (デバイスの上下にあります)には大型の接着剤が付けられています。そのため若干長く、熱に当てなければなりません。熱くて触れられない程度ならば、ディスプレイは十分に温まっています。時間になると約2分程度です。

手順 2

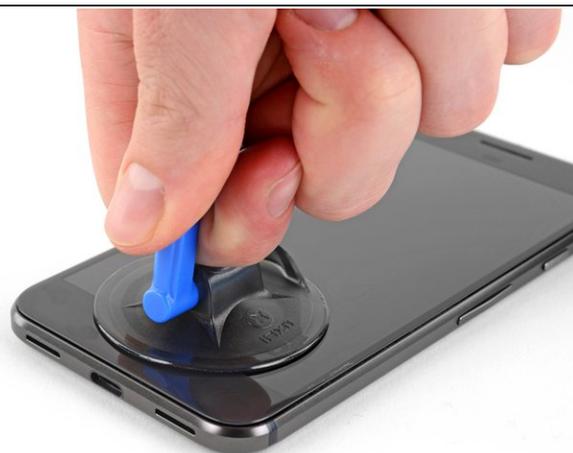


① **i** 次の手順では、ディスプレイをPixelの筐体に固定している接着剤を切り込みます。

- 参考のために、ディスプレイパネル裏側の様子が左側の画像で確認できます。ディスプレイユニット端とOLEDパネルの間の狭い隙間にご注意ください。(ベゼルは前面側にこの間隔で表示しています)。

⚠ デバイスの側面に1.5mm以上、もしくはデバイス上下に9 mm以上深く開口ツールを差し込んでしまうと、ディスプレイに永久的なダメージを与えてしまいます。

手順 3



- [吸盤カップ](#)を使って、ディスプレイを上引き上げ、ディスプレイと筐体の間にわずかな隙間を作ります。
- ⓘ ディ스플레이がひび割れている場合は、[透明の補強テープを全体に貼り](#)、吸盤カップが固定され、割れたガラスが飛び散らないようにしてください。
- 上手く隙間が出きない場合は、さらに熱を加えて温める必要があるかもしれません。作業には時間がかかります。隙間にゆっくりとツールの先端を差し込めるようになったら、次の手順に進みます。

手順 4



- 開口ピックもしくはプラスチックカードをカシスとディスプレイアセンブリの間の隙間に差し込みます。
- 開口ピックをディスプレイ端周辺にスライドして、留められた接着剤を切り込んでいきます。

⚠ ピックでスクリーンを持ち上げたり、こじ開けたりしないでください。スライドさせて接着剤をはがすだけです。

i ディ스플레이パネルは脆いです。ディスプレイを再利用する場合は、ツールは必要以上に奥まで差し込まないようにご注意ください。ツールを深く差し込むと、ガラス下のOLEDパネルにダメージを与えてしまいます。

手順 5



- 引き続き、デバイス周辺の残りに付けられた接着剤も丁寧に切り込みます。

⚠ スクリーン上端にあるイヤースピーカーを覆うメッシュがあります。交換用のメッシュがない場合は、この部品を破損したり紛失したりしないように注意してください。

⚠ 横側のベゼルをスライドする際は、わずか1.5 mmの奥行きしかないので、特にご注意ください。

手順 6



- 接着剤を切断できたら、ゆっくりとディスプレイ上部(スピーカーグリルの切り欠きがある側)から持ち上げます。ゆっくりとデバイスの下側に向けて垂直に持ち上げて裏返します。画像のように配置してください。
- 粘着力がいたるところに残っていることを忘れないでください。スクリーンとディスプレイの間にオープニングピックを挟んで、接着剤が再装着しないようにしましょう。

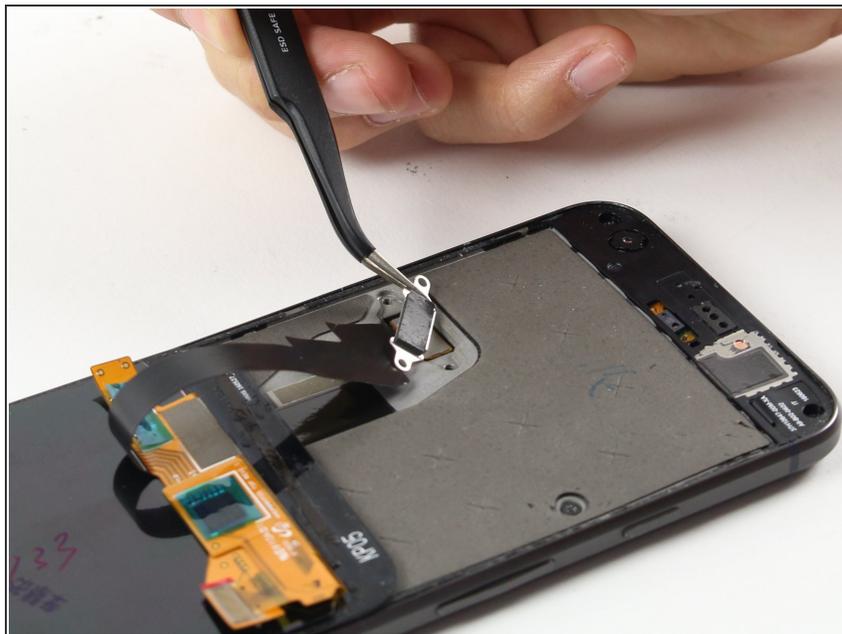
⚠ ディスプレイを完全に取り外さないでください。まだダメージが入りやすいリボンケーブルで接続されたままです。ディスプレイを開く際は、ケーブルに過度な圧力がかからないようご注意ください。

手順 7



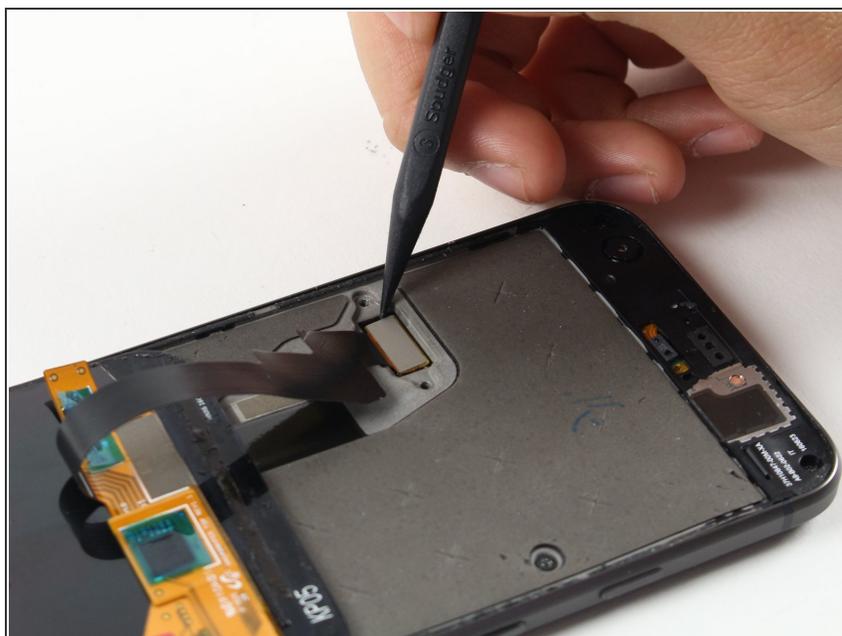
- T5トルクスドライバーを使って、ディスプレイケーブルコネクタブラケットを固定している黒の3.5mm T5ネジを2本外します。
- この修理の間、各ネジの装着位置を記録し、元の場所に正確に戻してください。

手順 8



- ピンセットを使って、ディスプレイコネクタを固定しているブラケットを取り外します。
- これは単なるメタルピースで、簡単に外れるはずです。(ケーブルについては次の手順で外します)。

手順 9



- スパッジャーを使って、[ディスプレイケーブルコネクタ](#)を持ち上げ、ディスプレイを解放します。
- ★ 再組み立ての際は、片方を先に装着してから、もう反対側をゆっくりとはめ込みます。
- ⚠ このタイプのコネクタを無理に差し込むと破損することがあります。(軽くカチッと音がする程度で、それ以上力を加えるとコネクタに永久的な損傷を与えることがあります)。

手順 10



- ディスプレイを取り出します。
- ★ ある交換用のディスプレイには、[イヤホンスピーカークリル](#)が付いていないものがあります。お手元のパーツにスピーカークリルがついていない場合は、古いディスプレイから新しいパーツにグリルを移植してください。
- ★ 再組み立ての際は、ここで一旦作業を止めて、[ディスプレイ用接着剤を交換](#)してください。
- 再組み立て後の起動中に、スクリーンはキャリブレーション画面に移行します。この間、スクリーンに触れないでください。不適切なタッチキャリブレーションが行われ、タッチの問題が発生する可能性があります。

交換用のパーツとオリジナルのパーツを見比べてください。残りのコンポーネントを移植する必要があるか、パーツを装着する前に接着剤の裏張りを取る必要があります。

デバイスを再組み立てする際は、これらのインストラクションを逆の順番に従って作業を進めてください。

不要になった電子廃棄物は [認証済みリサイクルセンター](#) で処分してください。

修理が上手く進みませんか？トラブルシューティングのヘルプには、[アンサーコミュニティ](#) を参照してください。